

地区名	土岐地区	番号	1
タイトル	デジタル化による医療の充実（遠隔医療の実現に向けて）		
ご意見の内容			
<p>少子高齢化による人口減少と医療需要の変化、医師不足による医療提供への課題解決のため、現在、東濃厚生病院と土岐市立総合病院の一病院化が進められている。</p> <p>こうした取り組みは、将来にわたりこの地域の医療提供体制を確保する上で非常に重要なことである。</p> <p>しかし、少子高齢化は今後も進展していくことが予想されるので、病院一元化の次のステップとして、遠隔医療（オンライン診療など）の体制整備を進めていく必要があると考える。病院までの移動負担の軽減や待ち時間の解消、医師の負担軽減、医療経営の効率化、利便性の向上などが期待できる。</p> <p>政府は、デジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル社会の実現により、地域の課題解決を図ろうとしている。こうした国の取り組みを最大限活用し、将来にわたり安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めていただきたい。</p> <p>医療関連として、マイナンバーカードの健康保険証利用の現在の進捗について伺いたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 市民課	
<p>デジタル化は医療分野だけでなく、これから様々な分野で取り入れていかなくてはならない。令和4年4月に「東濃中部地域新病院建設基本構想・基本計画」が策定され、「遠隔医療・A I問診等を取り入れへき地医療を行う」とし、デジタル化による医療の充実を図るとしている。新病院は、今後30年間を見通し、遠隔医療を取り入れていかなくてはならないと思っている。</p> <p>今後マイナンバーカードに保険証機能をつけると金銭的なメリットや利便性の向上につながるといった議論もされているが、まだ国から具体的にどうしていくのか方針が示されていないため、市としてお答えできる段階ではない。</p>			

地区名	土岐地区	番号	2
タイトル	小学校コミュニティ・スクールの始まりにあたって		
ご意見の内容			
<p>この2年間、まちづくり活動が停滞し、会議さえ開催することができない中、どのような事業展開が可能か手探りの状況が続いている。まちづくりの大きな柱として青少年の育成、地域で子どもを育てていこうということで、本年度からコミュニティ・スクールが始まるにあたり、できることから確実に始めていきたいと考えている。子どもだけではなく、大人も一緒に学ぶことができる場が作れると良いと考えているが、学校の空き教室の利用方法やセキュリティ等において困難な問題も出て来ることが予想されるため、市としてもその都度前向きに検討いただきたい。</p> <p>なお、まちづくり活動のみならず、地域での多様な活動の活性化を考える時、人材発掘とか人づくりという言葉聞くが、人材は活動の中で発見されていくものであり、人材バンクというものがあっても良いと思う。本年度から始まるコミュニティ・スクールは、人材発掘という面において良い機会ではないかと考える。</p>			
市長の回答	担当課	学校教育課	
<p>学校だけではなく「地域総がかりでの教育の実現」を図ることがコミュニティ・スクールの大きな目標である。子どもを中心にした地域学校協働活動を行い、地域の方々の学びや子どもとのふれあいを通してやりがい、生きがい、さらに地域の活性化につながると考える。瑞浪市では令和6年度までに市内の地区すべてにおいてコミュニティ・スクールをスタートする準備に入っており、学校と地域が双方向で連携をとることが必要である。</p> <p>学校の施設利用については事前に使用申請をしてもらえば可能である。</p> <p>人材バンクについては、人材バンクのリストを作成していくことからスタートする考えもあるが、普段の行事の中で若い人を巻き込みながら人材を育てていくということも大事であると思う。</p>			

地区名	土岐地区	番号	3
タイトル	選挙権年齢の18歳以上への引下げに対応した学校教育の充実		
ご意見の内容			
<p>学校教育の場で、選挙権を得ることへの重要性や社会へ参画するという、大人としての自覚と責任をもってもらうための取組として、学校教育が非常に大切であると考えます。オンラインを活用した教育活動など、国・県の取組だけではなく、瑞浪市としてより一層児童・生徒のうちから学校現場での政治や選挙等に関する学習の内容を充実させていただきたい。まず住む地域の行政に関心を持ってもらい、選挙に参加することの重要性を理解してもらえよう、市として支援することが大事ではないか。</p> <p>選挙のための選挙ではなく、市政を考えられる人材を育てていってほしい。</p>			
市長の回答	担当課	選挙管理委員会事務局 学校教育課	
<p>国政選挙では、初めて選挙権年齢が18歳以上となった6年前の参議院議員通常選挙の際、選挙管理委員の方々と連携をとり、模擬投票などを行い、瑞浪市の18歳、19歳の投票率は県下でトップであった。教育現場では、中学校社会科公民で「選挙の意義と仕組み」について取り上げ、選挙の意義や大切さについて学習している。これからも選挙管理委員会と学校教育の中でしっかりと取り組み、瑞浪市の発展につながるよう若い人材を育成していきたいと思っている。</p>			

地区名	土岐地区	番号	4
タイトル	交通不便地域の解消へ向けて		
ご意見の内容			
<p>コミュニティバスの運行、デマンド交通の採用と着実に成果を上げられているが、次の段階では最も交通不便を余儀なくされている地域に目を向け、政策を進めていただきたい。市民の福祉や平等性にも合致するよう、福祉行政の1つとして実現してもらいたい。新病院との移動連携システムの構築にも期待している。新たな方策を見出し、社会支援をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>利用実態を見れば、コミュニティバス、デマンドタクシーで満足いただけていないと思う。もっと市民の皆さまが利用しやすく、また今利用できない地域の皆さまも利用できる交通支援はないか、他市の先進事例を参考にし、市民の皆さまの役に立つような公共交通の検討を始めているため、少し時間をいただきたい。</p>			

地区名	土岐地区	番号	5
タイトル	(1) 緑内障の啓発について (2) 国道19号の渋滞に伴う救急搬送ルート確保について (3) ごみ焼却施設の広域化に併せた資源ごみの出し方について (4) ごみのポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止条例について		
ご意見の内容			
<p>(1) 緑内障の啓発について 毎年3月上旬に世界緑内障週間にて緑内障啓発活動の一環としてライトアップinグリーン運動が行われている。近隣市の多治見市で行われているため、瑞浪市でも行っていただきたいかがか。</p> <p>(2) 国道19号の渋滞に伴う救急搬送ルート確保について 今秋、土岐市にイオンモール土岐がオープンし、国道19号がより一層の渋滞が予測される。そう予測される中、救急車による岐阜県立多治見病院へ搬送するルートについて検討されているか。</p> <p>(3) ごみ焼却施設の広域化に併せた資源ごみの出し方について ごみ焼却施設の広域化を進めるのと同時に、リサイクルを含めたごみの分別方法についても併せて協議を進められるか。</p> <p>(4) ごみのポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止条例について 自然を大切にする観点から、ごみのポイ捨てや歩きタバコを禁止する条例は検討されているか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 消防本部 環境課	
<p>(1) 緑内障の啓発活動については、世界緑内障週間に合わせ、広報にて周知を行っている。また令和4年度より、常時、保健センター内において、緑内障の早期発見のためのチェックリストをポスター化し掲示を開始した。今回ご意見いただいたライトアップについては、多治見市のようなライトアップに効果的な建築物（白くて高い建物）があるかなど、取り組むにあたっての課題があるため、今のところは現在行っている啓発活動の強化に努めていく。</p> <p>(2) 県立多治見病院をはじめ、瑞浪市・土岐市以外の医療機関への搬送については、中央自動車道を含めた高速道路を使用して搬送しているため、搬送ルートへの影響はないと考える。</p> <p>(3) ごみ焼却施設の広域化の具体的な検討を行う段階では、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの分類を再検討することとなる。このことから、広域化に併せリサイクルを含めたごみの分別方法について検討を行う。</p> <p>(4) 市民等一人ひとりの心配りにより、良好な生活環境を確保し、清潔で美しいまちづくりを推進することを目的として「瑞浪市まちをきれいにする条例」を制定しています。本条例に歩きタバコ禁止の規定はありませんが、吸い殻を含むポイ捨て防止について規定しています。ポイ捨てがひどい場合には、立て看板の支給等も行っていきますのでご相談ください。</p>			